

1. 特に効果的であり改善に資した事例について

A. コースワークの充実・強化

①人材養成目的に沿った科目構成の整理

《医療系》

●東北大学医学系研究科医科学専攻

「多層的かつ双方向性の大学院医学教育実質化」の事例

(具体的に何を実施したのか)

「研究倫理・研究推進ゼミ」「学際領域ゼミ」を開催した。

「研究倫理・研究推進ゼミ」では、医学研究・学際研究の第一人者を学内外から招聘し、講演を受け、その後には学生との議論の場を設けることで、学生の見聞を広める機会を作った。

(実施に当たり特に考慮・工夫したことや、注意を払ったこと)

学生は能力があり、十分に知識獲得能力があるが、その能力を発揮することの意義を伝え、チャンスを与えることが重要であると考えていた。学生の大半が社会人を経験していることも考慮し、学究的な環境を整えながらも、研究成果の社会への貢献が見えるような講義を行い、かつ視野を広げることを意識した。

(どのような結果が得られたのか、どのような良い影響があったのか)

講師とのコミュニケーションによって、見聞が広がったことはもちろんのこと、講師との議論の場は、当然ながら学生間の議論の場へ拡張され、学生間の交流が深まったことも良い影響であった。